

# あなたの健康、大丈夫？

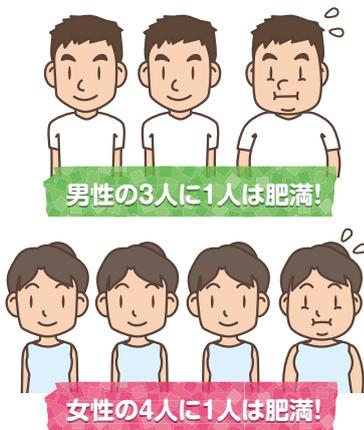
～田原市国民健康保険データヘルス計画から見たこと～

「データヘルス計画」とは、国民健康保険(国保)加入者の皆さんの健康診断のデータやレセプト(診療報酬明細書)データの情報を分析・活用し、病気予防や健康づくりを効率的・効果的に実施するために平成29年3月に作成しました。

今回、データヘルス計画の分析結果を基に、皆さんの健康について考えてみましょう。 ▶保険年金課 ☎23-2149

## ◆肥満が県内ワースト1位！

日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健診(特定健診)を実施しています。この健診の受診者のうち、本市では男性の3人に1人、女性の4人に1人が肥満であることが分かりました。この割合の高さは、県下で第1位です。

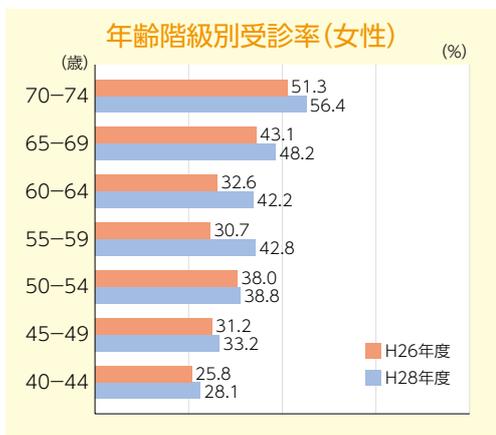
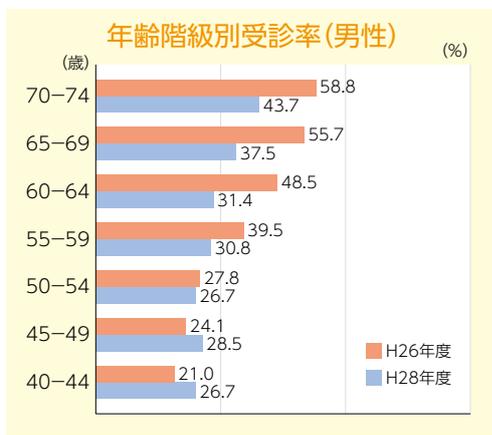


また、肥満だけでなく、高血圧、高血糖、脂質異常症などの生活習慣病を合わせて持っていました。田原市の肥満は、心臓病などのリスクを高める、「内蔵型の肥満」の割合が高いことが分かりました。

## ◆40～50歳代の健診受診率が低い！

国保加入者のうち、約6割の方が

健診を受診しておらず、その中で平成26年度と比較して男女とも40～50歳代の方の未受診者の割合が高くなっています。



健診を受診していない方は、自分の健康状態を知る貴重な機会を失っていることとなります。

## ◆健診未受診者の医療費は高い！

健診を受診している方と未受診の方の医療費の差は、7万3116円に上っています。



また、入院と外来の件数と費用を比べると、入院はわずかな件数で費用の約36.4%を占めています。



これは、入院の場合、費用が高額になることを示しており、早期の外来治療が、重症化した場合の入院を減らすことにつながることが分かります。